



28

様式 8-1 (1/4)

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成 23 年 9 月 13 日 (第 報)

発信時刻 時 分

(第 15 条-27 報)

経済産業大臣, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

通報者名 福島第一原子力発電所長 吉田 昌郎

連絡先 (原子力防災管理者) 0240-32-2101(代)

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報以後の情報を通報します。

原子力事業所の名称及び場所 名称: 東京電力株式会社 福島第一原子力発電所 (事業区分: 電気事業) 場所: 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22

特定事象の発生箇所 福島第一原子力発電所 第3号炉

特定事象の発生時刻 平成23年9月11日16時36分 (24時間表示)

発生した特定事象の概要 特定事象の種類: ⑥非常用炉心冷却装置注水不能 原子力緊急事態に該当 (四角する, □しない) 想定される原因: □特定 □調査中 検出された放射線量の状況, 検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等: 3号炉は、炉心内に注水しては HPCI を停止し、現時点で、冷却水循環停止による炉心温度の上昇は、5.0時30分頃には TAF の到達は予想です。 現在、冷却注水設備に向けた設備を動かしてはいますが、炉心内への注水に向けた設備は付いていません。

その他特定事象の把握に参考となる情報 被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 時 分) 被ばく者の状況: 確認中 □無 □有 被ばく者 名 要救助者 名 汚染拡大の有無: □無 □有

気象情報 (確認時刻 時 分) 天候: 風向: 方位: 風速: m/s 大気安定度:

周辺環境への影響 □無 □有

応急措置

福島第一原子力発電所 プラント関係トラブル

3月13日 05:00現在

添字が更新情報

号機	1u	2u	3u	4u	5u	6u
注水状況	消火系ラインを用いて海水注 入中	RC-1C 動作中 (255、現時刻出圧 6MPa 確認) HPCI (確認値は待ち)	HPCI 停止 (02:46) -停止が原因のためRC-1C 確認せず D/D 消火ポンプ 起動 (吐出 0.61M Pa) しているが、注入不発	停止中	停止中	停止中
原子炉圧力	0.35MPa (05:00 現在)	6.14MPa (確認 04:00)	7.38MPa (05:00) SRV に 0 露出中	-	-	-
原子炉水位	ダウンスケール (燃料域 A) -1700mm (燃料域 B) (05:00 現在)	水位計 復旧 燃料区域から +3660mm (燃料域) (04:00 現在)	-2000mm (燃料域) -3500mm (ワイド)	-	-	-
D/W 圧力	不測	0.33MPa Paabs (04:00 現在)	360kPaabs (05:00 現在)	-	-	-
D/W 燃料使用圧力	384kPa	384kPa	384kPa	-	-	-
D/W 凝縮剤使用圧力	427kPa	427kPa	427kPa	-	-	-
MPT8	MP7 値レンジ: 1200ng/h MP8 値レンジ: 120ng/h	高レンジ: 800ng/h 高レンジ: 130ng/h		(05:00 現在)		
3u 主スタック	12cps					
電源	1A トリップ 1B トリップ	2A トリップ 2B トリップ	3A トリップ 3B トリップ	4AB 使用不可	5AB トリップ	6B 動作中 6A 不可 HPCS 不可
放射能測定結果	MP4 付近モニタリングカマ : 3.7 μSV/h (1529) その他、現在 42.2 μSV/h (01:34) MP6 付近 (CEP 付近) : 3.0 μSV/h (04:00) MP8 付近 : 5.2 μSV/h (04:00) ヨウ素検出: 検出限界以下 (<8.6×10 ⁻³ Bq/cm ²) (2 時 00 分頃)					
その他情報	3/12 14:30 1号機 高圧ベント試験と判断。 3/12 20:20 1号機 消火系ラインを戻った后海水注入開始し、注水中。 1号原子炉圧力発熱の管理は約120トンであり、現在海水量は、20~60トン/H (確認値がつかっていないため、正確な数字はわからない) で注入されていることから、3/13 3時00分くらいに海水が注水されると考えられる。しかし、水位が海水でないと確認できないことから、引き続き注水を 継続する。					

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成 23 年 3 月 13 日 (第 報)

発信時刻 時 分

(第 15 条-28 報)

経済産業大臣、福島県知事、大熊町長、双葉町長 殿

通報者名 福島第一原子力発電所長 吉田 昌郎

連絡先 (原子力防災管理者) 0240-32-2101(代)

(G)

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報
以後の情報を通報します。

電力事業所の名称及び	名称：東京電力株式会社 福島第一原子力発電所 (事業区分：電気事業) 場所：福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所	福島第一原子力発電所 第 号炉
特定事象の発生時刻	平成 23 年 3 月 11 日 16 時 36 分 (24時間表示)
発生した特定事象の概要	特定事象の種類 ⑥ 非常取次冷却設備注水不能 原子力緊急事態に該当 (<input checked="" type="checkbox"/> する, <input type="checkbox"/> しない)
	想定される原因 <input type="checkbox"/> 特定 <input type="checkbox"/> 調査中
	検出された放射線量の状況、検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等 予備HPCIが停止したため、RCICによる原子炉への注水を実施しましたが、RCICが起動できなかったことから、5時10分に原子炉冷却機能喪失に該当すると判断した。
その他特定事象の把握に参考となる情報	被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 時 分) 被ばく者の状況 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 : 被ばく者 名 要救助者 名 汚染拡大の有無 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 :
	気象情報 (確認時刻 時 分) ・天候 : 晴 ・風向 : 方位北北東 ・風速 : 2.7 m/s ・大気安定度 :
	周辺環境への影響 <input type="checkbox"/> 無 9:30 正内 3.104 μSv/h <input type="checkbox"/> 有 : 4:30 HP-8 510 μSv/h
	応急措置

30

様式 8-1 (1/4)

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成 23 年 3 月 13 日 (第 15 報)
 発信時刻 6 時 14 分 19 秒
 (第 15 条 - 29 報)

経済産業大臣, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

通報者名 福島第一原子力発電所長 吉田 昌郎
 連絡先 (原子力防災管理者) 0240-32-2101(代)

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報以後の情報を通報します。

原子力事業所の名称及び場所	名称: 東京電力株式会社 福島第一原子力発電所 (事業区分: 電気事業) 場所: 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原2-2	
特定事象の発生箇所	福島第一原子力発電所 第 1 号炉	
特定事象の発生時刻	平成 23 年 3 月 11 日 16 時 30 分 (24時間表示)	
発生した特定事象の概要	特定事象の種類	① 燃料冷却不能 原子力緊急事態に該当 (○する, □しない)
	想定される原因	<input checked="" type="checkbox"/> 特定 <input type="checkbox"/> 調査中
	検出された放射線量の状況, 検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等	その後 4 時 50 分に TAF に到着したため 判断しました
その他特定事象の把握に参考となる情報	被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 時 分)	被ばく者の状況 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 被ばく者 名 要救助者 名 汚染拡大の有無 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有
	気象情報 (確認時刻 時 分)	天候: 晴 風向: 方位 風速: 10 / 8 大気安定度: 晴
	周辺環境への影響	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有
	応急措置	



有TAX 1.55
31

様式8-1 (1/4)

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成23年 3月 13日 (第 報)
発信時刻 7 時 35 分
(第 16 条-50 報)

経済産業大臣、福島県知事、大熊町長、双葉町長 殿

通報者名 福島第一原子力発電所長 吉田 昌郎

連絡先 (原子力防災管理者) 0240-32-2101(代)
(G)

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報
以後の情報を通報します。

原子力事業所の名称及び
場所 名称: 東京電力株式会社 福島第一原子力発電所
(事業区分: 電気事業)
場所: 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22

特定事象の発生箇所 福島第一原子力発電所 第3号炉

特定事象の発生時刻 平成23年 3月 11日 16時36分 (2.4時間表示)

発生した特定事象の概要	特定事象の種類	④ 非常用炉心冷却装置 原子力緊急事態に該当 (○する, □しない)
	想定される原因	○ 特定 □ 調査中
	検出された放射線量の状況、検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等	この炉心は、PWRハット操作の準備中であり、PWRハット操作開始前の確認は、計測は完了し、制御の通りです。

その他特定事象の把握に参考となる情報	被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 時 分)	被ばく者の状況 □ 無 ○ 有: 被ばく者 1名 要救助者 0名 汚染拡大の有無 □ 無 ○ 有
	気象情報 (確認時刻 時 分)	天気: / 風向: 方位 / 風速: m/s / 大気安定度: /

周辺環境への影響	□ 無 □ 有: /
----------	---------------

応急措置	/
------	---

1F-3 D/W 2次ベントの場合
の線量評価

前提

ケース：重大事故

容積：D/W + S/C = 3770 + 3160 m³

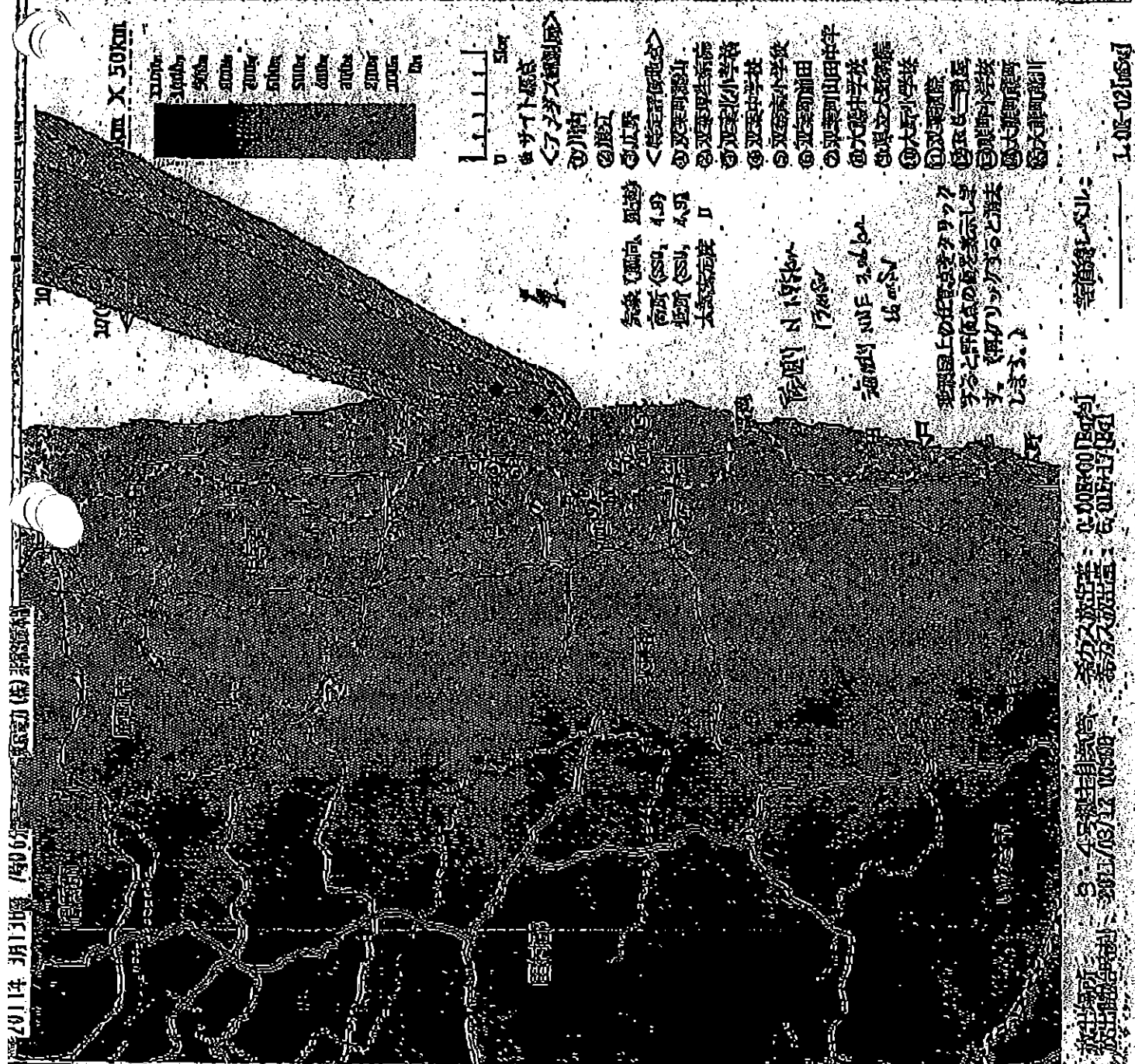
圧力：4.27 + 101.3 \rightarrow 101.3 kPa
3.7気圧
9.72気圧

気速：S/W 4.9 m/s

○大気安定度 D

(6:30現在 2Fの気速条件)

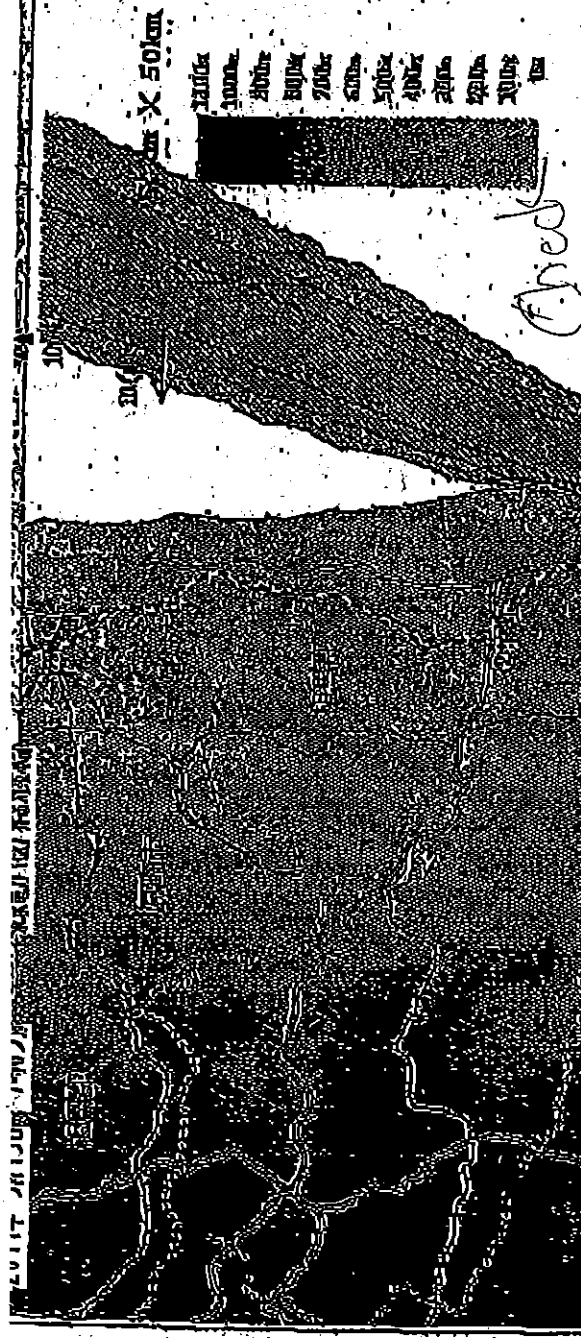
135	2011/08/12	22:10
134	2011/08/12	22:20
136	2011/08/12	22:30
135	2011/08/12	22:40
137	2011/08/12	22:50
138	2011/08/12	23:00
139	2011/08/12	23:10
141	2011/08/12	23:20
142	2011/08/12	23:30
143	2011/08/12	23:40
144	2011/08/12	23:50



133	2011/08/12	22-10
134	2011/08/12	22-20
135	2011/08/12	22-30
136	2011/08/12	22-40
137	2011/08/12	22-50
138	2011/08/12	23-00
139	2011/08/12	23-10
140	2011/08/12	23-20
141	2011/08/12	23-30
142	2011/08/12	23-40
143	2011/08/12	23-50

144

145



- ① 〆
- ② 〆
- ③ 〆
- ④ 〆
- ⑤ 〆
- ⑥ 〆
- ⑦ 〆
- ⑧ 〆
- ⑨ 〆
- ⑩ 〆
- ⑪ 〆
- ⑫ 〆
- ⑬ 〆
- ⑭ 〆
- ⑮ 〆
- ⑯ 〆
- ⑰ 〆
- ⑱ 〆
- ⑲ 〆
- ⑳ 〆
- ㉑ 〆
- ㉒ 〆
- ㉓ 〆
- ㉔ 〆
- ㉕ 〆
- ㉖ 〆
- ㉗ 〆
- ㉘ 〆
- ㉙ 〆
- ㉚ 〆
- ㉛ 〆
- ㉜ 〆
- ㉝ 〆
- ㉞ 〆
- ㉟ 〆
- ㊱ 〆
- ㊲ 〆
- ㊳ 〆
- ㊴ 〆
- ㊵ 〆
- ㊶ 〆
- ㊷ 〆
- ㊸ 〆
- ㊹ 〆
- ㊺ 〆
- ㊻ 〆
- ㊼ 〆
- ㊽ 〆
- ㊾ 〆
- ㊿ 〆

経緯 N 145 km
 133 km
 134 km
 135 km
 136 km
 137 km
 138 km
 139 km
 140 km
 141 km
 142 km
 143 km

地形図上の任意のタリク
 する7箇所の植生表示は
 赤、黄、緑、青、紫、白
 になります。

寺植樹林の分布

FAX 7-53

32

様式8-1 (1/4)

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成 23 年 3 月 13 日 (第 報)
 発信時刻 7 時 56 分
 (第 15 条 5 号 報)

経済産業大臣、福島県知事、大熊町長、双葉町長 殿

通報者名 福島第一原子力発電所長 吉田昌郎

連絡先 (原子力防災管理者) 0240-32-2101(代)

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報以後の情報を通報します。

原子力事業所の名称及び場所	名称：東京電力株式会社 福島第一原子力発電所 (事業区分：電気事業) 場所：福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22	
特定事象の発生箇所	福島第一原子力発電所 第 号炉	
特定事象の発生時刻	平成 23 年 3 月 11 日 16 時 36 分 (24時間表示)	
発生した特定事象の概要	特定事象の種類	⑥ 非常用炉心冷却装置が水不足 原子力緊急事態に該当 (四する, □しない)
	想定される原因	<input type="checkbox"/> 特定 <input type="checkbox"/> 調査中
その他特定事象の把握に参考となる情報	検出された放射線量の状況、検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等	3時14分7時39分、格納容器スプレッド 745kPa 原子炉水位 -3000mm (200kPa) 原子炉圧力 7.31MPa D/C圧力 460kPa abs S/D圧力 440 "
	被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 時 分)	被ばく者の状況 確認中 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 被ばく者 名 要救助者 名 汚染拡大の有無 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有
	気象情報 (確認時刻 時 分)	天候 : _____ 風向 : _____ 方位 風速 : _____ m/s 大気安定度 : _____
	周辺環境への影響	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有
	応急措置	

111 3/13 8:46

33

様式8-1 (1/4)

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成 23 年 3 月 13 日 (第 報)

発信時刻 8 時 46 分

(第 15 条-32 報)

経済産業大臣, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

通報者名 福島第一原子力発電所長 吉田 昌郎

連絡先 (原子力防災管理者) 0240-32-2101 (代)

(G)

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報以後の情報を通報します。

原子力事業所の名称及び場所 名称: 東京電力株式会社 福島第一原子力発電所 (事業区分: 電気事業) 場所: 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22

特定事象の発生箇所 福島第一原子力発電所 第 号炉

特定事象の発生時刻 平成 23 年 3 月 11 日 16 時 36 分 (24時間表示)

発生した特定事象の種類 ⑥非常用炉心冷却設備注水不能 原子力緊急事態に該当 (口する, 口しない)

想定される原因 口特定 口調査中

発生した特定事象の概要 検出された放射線量の状況, 検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等 3時40分頃よりSNバート操作を開始しました。

その他特定事象の把握に参考となる情報 被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 時 分) 被ばく者の状況 口無 口有: 被ばく者 名 要救助者 名 汚染拡大の有無 口無 口有:

気象情報 (確認時刻 時 分) 気候 風向 方位 風速 m/s 大気安定度

周辺環境への影響 口無 7:30現在 口有: MP-4 27.2 uSv/h

応急措置 正内 2.5 uSv/h 7時30分現在 MP-8 3.6 uSv/h

一斉FAX 9:01

34

様式8-1 (1/4)

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成 23 年 3 月 13 日 (第 報)

発信時刻 9 時 01 分

(第 15 条-23 報)

経済産業大臣, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

通報者名 福島第一原子力発電所長

連絡先 (原子力防災管理者) 0240-32-2101(代)

(G)

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報以後の情報を通報します。

原子力事業所の名称及び場所 名称: 東京電力株式会社 福島第一原子力発電所 (事業区分: 電気事業) 場所: 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22

特定事象の発生箇所 福島第一原子力発電所 第 号炉

特定事象の発生時刻 平成 23 年 3 月 11 日 16 時 36 分 (24時間表示)

発生した特定事象の種類 ⑤ 非冷却炉心冷却装置注水不能 原子力緊急事態に該当 (四する, □しない)

想定される原因 □特定 □調査中

検出された放射線量の状況, 検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等 500 mSv/h 2.3 mSv/h 8時56分 放射線量 異常上昇 該当FAX 判断済 HP: 4: 882 mSv/h (8:23)

被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 時 分) 被ばく者の状況 確認中 □無 □有 被ばく者 名 要救助者 名 汚染拡大の有無 □無 □有

気象情報 (確認時刻 時 分) 天候: 晴れ 風向: 方位南南西 風速: 0.2 m/s 大気安定度:

周辺環境への影響 □無 0.2 mSv/h 正門 3.2 mSv/h □有 1.2 mSv/h HP-8400 5.6 mSv/h

応急措置

済 FAX 9:20 35

様式 8-1 (1/4)

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成 23 年 3 月 13 日 (第 報)

発信時刻 時 分

(第 1.5 条 34 報)

経済産業大臣、福島県知事、大熊町長、双葉町長 殿

通報者名 福島第一原子力発電所長

連絡先 (原子力防災管理者) 0240-32-2101(代)

(G)

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報以後の情報を通報します。

子力事業所の名称及び場所	名称：東京電力株式会社 福島第一原子力発電所 (事業区分：電気事業) 場所：福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原2-2	
特定事象の発生箇所	福島第一原子力発電所 第3号炉	
特定事象の発生時刻	平成23年3月11日16時36分 (24時間表示)	
発生した特定事象の概要	特定事象の種類	①非常炉心冷却装置注水不能 原子力緊急事態に該当 (<input type="checkbox"/> する, <input type="checkbox"/> しない)
	想定される原因	<input type="checkbox"/> 特定 <input type="checkbox"/> 調査中
	検出された放射線量の状況、検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等	7:08頃に 3号炉はRPAによる原子炉圧力の急速減圧。RPA 原子炉圧力 1.26MPa、V/C圧力 637kPa、S/C圧力 590kPa 5号炉 消火ホースによる原子炉内への注水を開始した。
その他特定事象の把握に参考となる情報	被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 時 分)	被ばく者の状況 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 確認中 被ばく者 名 要救助者 名 汚染拡大の有無 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有
	気象情報 (確認時刻 時 分)	天候 : 風向 : 方位 風速 : m/s 大気安定度 :
	周辺環境への影響	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有
	応急措置	

FAX 9:36 36
様式 8-1 (1/4)

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成 23 年 9 月 11 日 (第 1 報)

発信時刻 9 時 36 分
(第 15 条 35 報)

経済産業大臣、福島県知事、大熊町長、双葉町長 殿
通報者名 福島第一原子力発電所長 吉田 昌郎
連絡先 (原子力防災管理者) 0240-32-2101 (代) G

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報
以後の情報を通報します。

原子力事業所の名称及び場
名称: 東京電力株式会社 福島第一原子力発電所
(事業区分: 電気事業)
場所: 福島県双葉郡大熊町大字夫沢守北原2-2

事象の発生箇所
特定事象の発生時刻
福島第一原子力発電所 第5号炉
平成 23 年 9 月 11 日 16 時 36 分 (24時間表示)

特定事象の種類
想定される原因
㊟非常用炉心冷却設備が水不足
原子力緊急事態に該当 (☑する, □しない)

発生した事象
検出された放射線量の状況、検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等
35号炉のRWAポンプ停止により、9時20分頃よりRWA炉心の低下傾向にあることを確認した。
また、炉内から放射性物質の漏れが確認された。
[Redacted]

特定事象の把握に係る情報
被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 時 分)
被ばく者の状況
□無
□有: 被ばく者 名 要救助者 名
汚染拡大の有無
□無
□有: 確認中

気象情報 (確認時刻 時 分)
・天候
・風向 方位
・風速 m/s
・大気安定度

周辺環境への影響
□無
□有: 確認中

応急措置
15時20分に連絡した内容について、17時頃に
HP-9: 882MSV/h → 682MSV/h
(8:23現在 → 8:21現在)

連絡ページ数は 01 ページです。

13:59 FAX 30

(訂正あり)

様式8-1 (1/4)

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成 23 年 3 月 13 日 (第 報)
 発信時刻 時 分
 (第 15 条 - 報)
 経済産業大臣、福島県知事、大熊町長、双葉町長 殿
 通報者名 福島第一原子力発電所長 吉田 昌郎
 連絡先 (原子力防災管理者) 0240-32-2101(代)

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報
 以後の情報を通報します。

原子力事業所の名称及び場所
 名称：東京電力株式会社 福島第一原子力発電所
 (事業区分：電気事業)
 場所：福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
 特定事象の発生箇所
 福島第一原子力発電所 第 号炉
 特定事象の発生時刻
 平成23年3月11日16時36分 (24時間表示)

発生した特定事象の概要
 特定事象の種類
 ③非常用炉心冷却系注水不能
 原子力緊急事態に該当 (する, しない)
 想定される原因
 特定 調査中
 検出された放射線量の状況、検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等
 当該炉心には、炉内に炉心冷却水が溜まり、海水と注入した冷却水とを混合して炉心に注水し、注水を開始した。

その他特定事象の把握に参考となる情報
 被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 時 分)
 被ばく者の状況 運転中
 無
 有：被ばく者 名 要救助者 名
 汚染拡大の有無
 無
 有
 気象情報 (確認時刻 時 分)
 天候 :
 風向 : 方位
 風速 : m/s
 大気安定度 :
 周辺環境への影響
 無
 有
 応急措置

訂正 Rev. 1

38

様式 8-1 (1/4)

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成 29 年 3 月 13 日 (第 報) 発信時刻 14 時 23 分 (第 15 条 第 1 項 第 1 報)	
経済産業大臣, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿 通報者名 福島第一原子力発電所長 森田 昌郎 連絡先 (原子力防災管理者) 0240-32-2101(代) (G)	
特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報 以後の情報を通報します。	
原子力事業所の名称及び場所	名称: 東京電力株式会社 福島第一原子力発電所 (事業区分: 電気事業) 場所: 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所	福島第一原子力発電所 第3号炉
特定事象の発生時刻	平成29年3月11日16時36分 (24時間表示)
発生した特定事象の概要	特定事象の種類 ⑥非常用炉心冷却設備取水不能 原子力緊急事態に該当 (四する, □しない)
	想定される原因 <input type="checkbox"/> 特定 <input checked="" type="checkbox"/> 調査中
	検出された放射線量の状況, 検出された放射性物質の状況又は 主な施設・設備の状況等 RPV 33%の圧力に達し、炉内に加熱ラインを形成して 海水を注入する準備をしており、RPVが破 壊し、注入を開始した。
その他特定事象の把握に参考となる情報	被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 時 分) 被ばく者の状況 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有: 被ばく者 名 要救助者 名 汚染拡大の有無 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有
	気象情報 (確認時刻 時 分) 天候: _____ 風向: _____ 方位 風速: _____ m/s 大気安定度: _____
	周辺環境への影響 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有
	応急措置

14:23 FAX 39

様式8-1 (1/4)

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成 23 年 3 月 13 日 (第 報)	
発信時刻 19 時 23 分	
(第 15 条 - 30 報)	
経済産業大臣, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿	
通報者名 福島第一原子力発電所長 吉田 昌郎	
連絡先 (原子力防災管理者) 0240-92-2101(代)	
(G)	
特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報以後の情報を通報します。	
原子力事業所の名称及び場所	名称: 東京電力株式会社 福島第一原子力発電所 (事業区分: 電気事業) 場所: 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所	福島第一原子力発電所 第 号炉
特定事象の発生時刻	平成 23 年 3 月 11 日 16 時 56 分 (24時間表示)
発生した特定事象の概要	特定事象の種類 ②非常用炉心冷却設備が作動不能 原子力緊急事態に該当 (□する, □しない)
	想定される原因 □特定 □調査中
	検出された放射線量の状況, 検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等 MP-4: 2.905 uSv/h (R: 50) MP-4: 2.905 uSv/h (R: 50)
その他特定事象の把握に参考となる情報	被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 時 分) 被ばく者の状況 □無 確認中 □有: 被ばく者 名 要救助者 名 汚染拡大の有無 □無 □有
	気象情報 (確認時刻 時 分) ・天候: 晴れ ・風向: 方位 東北東 ・風速: 1.5 m/s ・大気安定度:
	周辺環境への影響 □無 □有
	応急措置

一斉FAX 15時 40分
様式B-1 (1/4)

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成 23 年 3 月 13 日 (第 報)

発信時刻 15 時 19 分

(第 15 条-39 報)

経済産業大臣、福島県知事、大熊町長、双葉町長 殿

通報者名 福島第一原子力発電所長 吉田 昌郎

連絡先 (原子力防災管理者) 0240-32-2101(代)

(G)

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報
以後の情報を通報します。

原子力事業所の名称及び場所
名称: 東京電力株式会社 福島第一原子力発電所
(事業区分: 電気事業)
場所: 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原 2 2

特定事象の発生箇所
福島第一原子力発電所 第 号炉

特定事象の発生時刻
平成 23 年 3 月 11 日 16 時 26 分 (2.4時間表示)

発生した特定事象の種類
⑥非常用炉心冷却装置注水可能
原子力緊急事態に該当 (する, しない)

想定される原因
 特定 調査中

発生した特定事象の概要
検出された放射線量の状況、検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等
先に告知された28機炉心への操作に因して、開始前の被ばく野面について、別紙通りご連絡しました。

被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 時 分)
被ばく者の状況 確認中
 無 有: 被ばく者 名 要救助者 名
汚染拡大の有無
 無 有

その他特定事象の把握に参考となる情報
気象情報 (確認時刻 時 分)
天候: _____
風向: _____ 方位: _____
風速: _____ m/s
大気安定度: _____

周辺環境への影響
 無 有

応急措置

1F2

PCVベント評価

(条件)

- 重大事故 (希ガス 2% 放出)
(燃料インベントリ)

- 最新の気象条件 { 風向
風速
大気安定度

- 1ヶ散出の継続

- D/W + S/C の体積

ラッパ - ディスク圧力から 大気圧

破壊

にのみして評価

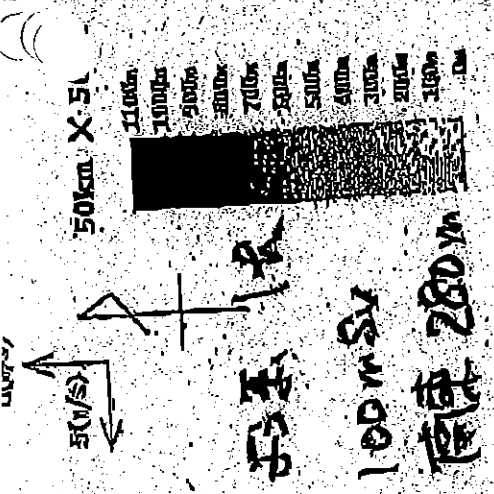
1	実効質量	1
2	実効質量	1
3	内合機及び実効質量(成人)	1
4	実効質量	1
5	実効質量	1
6	実効質量	1
7	実効質量	1
8	実効質量	1
9	2011/03/12 01:30	1
10	2011/03/12 01:50	1
11	2011/03/12 01:50	1
12	2011/03/12 02:00	1
13	2011/03/12 02:10	1
14	2011/03/12 02:20	1
15	2011/03/12 02:30	1
16	2011/03/12 02:40	1
17	2011/03/12 02:50	1
18	2011/03/12 03:00	1
19	2011/03/12 03:10	1
20	2011/03/12 03:20	1



放出線源: 1 2号機主制御室
 放出開始時刻: 2011/03/12 00:00
 希ガス濃度: 9.00E+00 [Bq/L]
 希ガス吐出量: 6.01E+17 [Bq]

等値線レベル: 1.0E-02 [mSv/h]

1	2011/03/12 00:10
2	2011/03/12 00:20
3	2011/03/12 00:30
4	2011/03/12 00:40
5	2011/03/12 00:50
6	2011/03/12 01:00
7	2011/03/12 01:10
8	2011/03/12 01:20
9	2011/03/12 01:30
10	2011/03/12 01:40
11	2011/03/12 01:50
12	2011/03/12 02:00



- ① サイト原地点
- ② アサダス解凍局
- ③ 川口
- ④ 川口
- ⑤ 川口
- ⑥ 川口
- ⑦ 川口
- ⑧ 川口
- ⑨ 川口
- ⑩ 川口
- ⑪ 川口
- ⑫ 川口
- ⑬ 川口
- ⑭ 川口
- ⑮ 川口
- ⑯ 川口
- ⑰ 川口
- ⑱ 川口
- ⑲ 川口
- ⑳ 川口
- ㉑ 川口
- ㉒ 川口
- ㉓ 川口
- ㉔ 川口
- ㉕ 川口
- ㉖ 川口
- ㉗ 川口
- ㉘ 川口
- ㉙ 川口
- ㉚ 川口
- ㉛ 川口
- ㉜ 川口
- ㉝ 川口
- ㉞ 川口
- ㉟ 川口
- ㊱ 川口
- ㊲ 川口
- ㊳ 川口
- ㊴ 川口
- ㊵ 川口
- ㊶ 川口
- ㊷ 川口
- ㊸ 川口
- ㊹ 川口
- ㊺ 川口

地形図上の仮定点をクリック
 すると該地点の値を表示しま
 す。(再クリックすると消去
 します。)



1. 07:11:00 (5)

4. 07:11:00 (5)

0. 07:11:00 (5)

10	2011/03/12	01:40
11	2011/03/12	01:50
12	2011/03/12	02:00
13	2011/03/12	02:10
14	2011/03/12	02:20
15	2011/03/12	02:30
16	2011/03/12	02:40
17	2011/03/12	02:50
18	2011/03/12	03:00
19	2011/03/12	03:10
20	2011/03/12	03:20
21	2011/03/12	03:30



1910-青FAX 41

様式8-1 (1/4)

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成 23 年 3 月 13 日 (第 報)
 発信時刻 19 時 10 分
 (第 15 条-40 報)

経済産業大臣、福島県知事、大熊町長、双葉町長 殿
 通報者名 福島第一原子力発電所長
 連絡先 (原子力防災管理者) 0240-82-2101(代)

特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報
 以後の情報を通報します。

原子力事業所の名称及び
 名称：東京電力株式会社 福島第一原子力発電所
 (事業区分：電気事業)
 場所：福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原2-2

特定事象の発生箇所
 福島第一原子力発電所 第 号炉

特定事象の発生時刻
 平成 23 年 3 月 11 日 16 時 26 分 (24時間表示)

発生した特定事象の種類
 非冷却材循環装置注入不能
 原子力緊急事態に該当 (する, しらない)

想定される原因
 特定 調査中

発生した特定事象の概要
 検出された放射線量の状況、検出された放射性物質の状況又は
 主な施設・設備の状況等
 現在のプラント状況

被ばく者の状況及び
 汚染拡大の有無
 (確認時刻 時 分)
 被ばく者の状況 確認中
 無
 有: 被ばく者 名 要救助者 名
 汚染拡大の有無
 無
 有:

その他特定事象の把握に参
 考となる情報
 気象情報
 (確認時刻 時 分)
 ・天候 : 晴れ
 ・風向 : 方位北北西
 ・風速 : 0.5 m/s
 ・大気安定度 :

周辺環境への影響
 無 1752 MP-4 51.8 μSv/h
 有:

応急措置

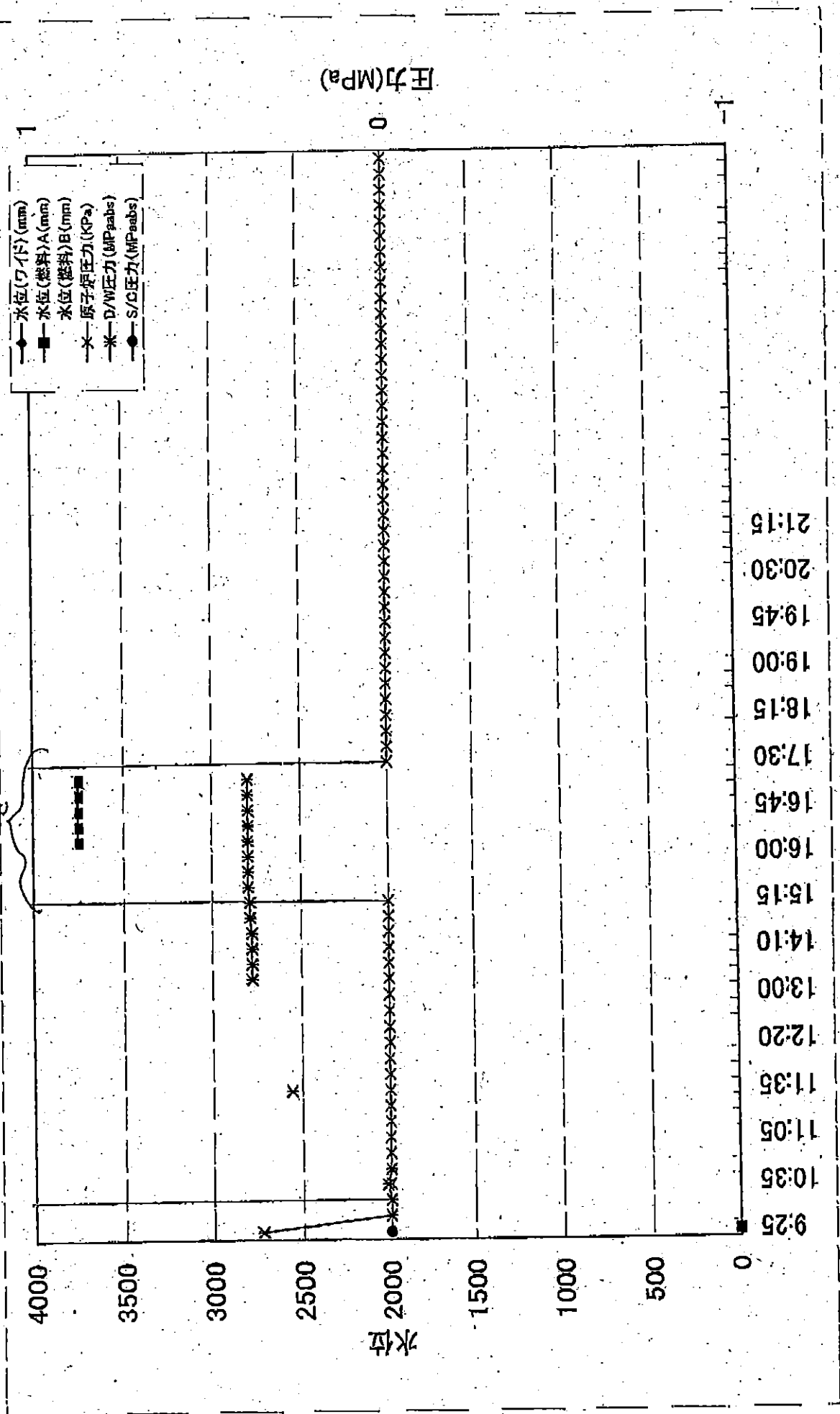
3月13日 18:45現在

号機	1u	2u	3u	4u	5u	6u
注水状況	消火系ラインを用いて海水注入中	RCIC動作中 (2.55、現時吐出圧 6MPa 確認) HPCI (電源復帰待ち)	HPGI停止 (02:44) RCIC起動不能確認 (5:10). 可搬式消火ポンプを消火系に接続し、炉注入中 (吐出圧力 1MPa). D/D消火ポンプについても運転中 (吐出圧力 0.6 MPa).	停止中	停止中	停止中
原子炉水位	ダウンスケール (燃料域 A) -1700mm (燃料域 B) (18:45現在)	ワイドは0/S 燃料域A: +3800mm 燃料域B: +3750mm 燃料域A/B系監視可能 (18:45現在)	-1800mm (燃料域A) (18:45) -2200mm (燃料域B)	-	-	-
原子炉圧力	0.362.3MPa (18:45現在)	18:00以降接続不良の為 指示確認できず。 (確認18:45)	0.25MPa (18:45現在)	-	-	-
D/W圧力	D/W 0.590MPa S/C 0.585MPa 仮設電源設置により監視可能 となった。(18:45現在)	D/W 0.410MPa S/C 計 器復帰中 (18:45現在)	D/W 420kPa S/C 375kPa (18:45現在)	-	-	-
D/W 設計使用圧力	384kPa	384kPa	384kPa	-	-	-
D/W 最高使用圧力	427kPa	427kPa	427kPa	-	-	-
3u主スタック	12cps (3/12 7:30 予一タ)					
電源	1Aトリップ 1Bトリップ	2Aトリップ 2Bトリップ	3Aトリップ 3Bトリップ	4A,B 使用不可	5A,Bトリップ	6B動作中 6A 不可 HPCS不可
放射能測定結果	MP4付近モニタリングカー : 51.8 μ SV/h (17:52) MP6付近 (正門付近) : 4.301 μ SV/h (17:00) MP8付近※ : 5.6 μ SV/h (07:30) ※風向きを考慮し、測定を実施していることから、現在MP8測定実施していない。 3号機排出 : 検出限界値以下 (4.6-6 \times 10 ⁻⁶ Bq/cm ²) (正門付近 1.7時16分頃) MP1※ : 3.5 μ SV/h (17:50)					
その他情報	3/12 14:30 1号機 前圧バント開始と判断。 3/12 20:20 1号機 消火系ラインを使った海水注入開始し、注入中。 1号原子炉圧力容器の容量は約120トンであり、現在海水系は、20~60トン/H (流量計がついていないため、正確な数字はわからない) で注入されていることから、3/13 3時00分くらいに海水となり、水位が満水であることを確認できないことから、引き続き注水を継続する。					



2005.12.15

IF-2 / 20724 水位 (218=00)



1F-3 70321 状況 (18:30)

